

烽火はあがる

無計画なオセワカイ

「不作の爲に一反に付き二千、
 賦課」を各地主に要求。
 若し出来なければ今年高買
 を意味して納めた年貢米は不
 合將來でも取つて戻れる事を
 申し込んだが、これに對して
 各地主は「一税もマカラス、
 合將來でなければ不可ない」と
 斷つて来た。そして地主の
 言ふには「不作で年貢米が納
 められなければ取り取つた額
 を持つてお出で、こつちで米
 にして年貢米を差引いた残り
 をお向の方にやるから」と云
 ふのだ小作人は自分の作つた
 物は自分で仕上げる、オセワ
 カイはよす、それなら作つて
 やらぬと、數十町歩の田を返
 還した。これに對して地主は
 は、用心を遣つたり、悪村
 から日輪を繰んでも御作する
 と百何軒を説きこらるるが
 小作人は結案して堅く地を踏

しても無念の言葉を射すと案
 断中だ。

小作人の勝利

千重、島田、東海村、野谷
 の地主は當にも断意張り擁ひ
 で五俵の所を四俵も取り立て
 てゐた。しかも 極悪非道な
 地主大野清平は戸數調査員
 であるのを奇貨にして地主六
 部、小作人四部の割合で計
 上した。それが村會を通過し
 たのだ。

いか及小作人も、たまりか
 ね、四月兼に奮起して小作同
 盟會を組織して二割五分引き
 を地主に要求した。地主は地
 主會を作つて抵抗し小作人の
 切腹し策を圖つたが同盟會の
 結束ますます堅く補佐前の今
 日になつても、要求を容れな
 ければ一本の苗も植えぬと頑
 強つた。これに對して地主は
 努力、共同耕作組合を設けて
 やると強辯を張つては見たが
 結局も仲間割れを生じ種々會
 を設けて、小作人諸君の要求
 を入れるからと説きを入れる
 者もある。小作人は断つた。

富山縣下の争議

富山縣は新川郡大原村の
 地主二十名から成る親作會は
 其の規約の中に左の如き條項
 を加へて小作人を壓迫し強と
 した。
 小作人にして小作料納付を拒
 むるものは、それが不當なる暴
 合は田地を取上げること
 田其の場合には地主も其の小
 作人から耕作田地の返還を迫
 る

これを知つた小作人五十餘
 名は地主の横暴強りに憤慨し
 小作會を組織して「從來の一
 反歩一石五斗の年貢を八斗に
 引き下げる」と親作會に要求
 し土地の返還を楯に地主に肉
 迫した。地主共は小作會の切
 斷しに應じそして十六人の小
 作人を會助的に連れ出し不法
 強迫強權にして小作會の親會
 を造つたが、こんなことは
 一人へコトれる者なく益々
 結束を固め争議中だが、又四

女房達の景慶

本村八代惣惣新地の小作
 人二百餘名は地主たる八代郡
 公益組合に對して五月朔、短
 左の要求を提出した。
 關大正十一年度米五割減
 關本年度より五ヶ年間米免納
 關小作人七分地主三分の割合で土地
 を購買すること
 十一日に小作人代表十一名
 婦人代表十二名は親作會に地
 主なる公益組合の役員と會見
 したが小作人は其の主張を一
 歩も退かぬと強固つたので其
 の會談は有耶無耶に閉會した
 るが、この事を知つた親作會
 の某が出しや通り、四俵とぬ
 かし、小作人の耕作の意氣を
 すつかりくちき此争議も有耶
 無耶の中に埋れんとしてゐ
 るが、小作人諸君の同盟會は小
 作人自身で組織しなければ駄
 目だ。ベチウチツレに取ら
 れてはならぬ小作人諸君が確
 を斷め直して奮起する事を期
 する。

山形縣と新潟縣

山形縣金澤村の同盟地は米
 一税もとれなかつた爲め、小
 作人は年貢の納めぬもなく、
 苦しむのであるのに、地主は資
 本が厚つてあるから地主に貸す
 とて、同村の若から千石を貸
 取つた。この事を知つた小作
 人等は、去年から米五割減で
 十俵も種で置いて一税も納
 めなかつたが、十一人十八人
 まで地主は強固した。